

大刀洗町立図書館



大刀洗町は、筑後平野の北東、筑後川中流域北岸に位置する人口一万六千人余の町です。町の名前は、南北朝時代の武将・菊池武光が太刀を流水で洗ったという故事に由来しています。国指定重要文化財の今村天主堂と国史跡下高橋官衙遺跡があり、特産品は、米・麦・枝豆・レタス・小松菜などの新鮮野菜です。大刀洗町立図書館は、昭和52年公民館図書室から始まり、平成6年に町立図書館として開館、平成28年4月にリニューアル。令和7年7月で32年目を迎えます。「成長」をイメージする若草色をテーマカラーに、県産木材を多用した内装と木のオブジェがあり、温かみのある空間。蔵書数は、現在約84,000冊。館内で、ゆっくり落ちついて読書ができます。大刀洗町民在勤在学者または、久留米広域圏・朝倉市・筑前町・東峰村在住者が利用カード登録可能です。ご来館をお待ちしています。